

科目名	刑事訴訟法	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)
			法律学科 □必修 ■選択 学科 □必修 □選択
英文表記	Criminal Procedure	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年
ふりがな	あきやま えいいち	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中
担当者名	秋山 栄一	修得単位	4 単位
授業のテーマ	刑事手続における被疑者・被告人の権利・人権と実体的正義の追求		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日ごろ、マスコミなどによって報道される刑事事件、事故をはじめとした社会の事象を刑事法学的観点から考えることができる。</li> <li>・刑事手続の流れ、特徴を理解することができる。</li> <li>・その他、物事を論理的に考えることができる。</li> </ul>		
授業概要	<p>裁判制度が身近な存在になってきた現在、法学部生は専門性を身につけた者としてどのような役割を担うべきであろうか。本講義では、刑事手続を理解しやすくするために、段階的に議論を推し進め、刑事手続の一連の流れ及び概念をおもに判例の動向を意識しながら、その知識を定着させることを目的とする。また、講義の進行方式としては、毎回レジュメを配布し、その流れに従っていく予定である。それ故、必ずしも指定のテキストの順序に従うとは限らないことがあることをお断りしておく。更に、警察官等の公安職公務員を志望する学生にとっては、実務上、特に重要な科目である。</p>		
授業計画			
第1回	講義ガイダンス 刑事訴訟法の基本構造	第17回	証拠法② 伝聞法則(2) 自白
第2回	刑事裁判の基本原則 刑事手続の概要	第18回	証拠法③ 違法に収集された証拠の排除
第3回	起訴前(捜査)手続① 捜査とは	第19回	公判の裁判 裁判とは 実体裁判 形式裁判
第4回	起訴前(捜査)手続② 捜査の方法・実行	第20回	上訴① 控訴
第5回	起訴前(捜査)手続③ 被疑者の逮捕	第21回	上訴② 上告
第6回	起訴前(捜査)手続④ 勾留	第22回	上訴③ 抗告、準抗告
第7回	起訴前(捜査)手続⑤ 捜索・差押え・検証	第23回	上訴④ 高等裁判所のした決定に対する異議申立て
第8回	起訴前(捜査)手続⑥ その他の捜査手段	第24回	確定後救済手続① 再審
第9回	起訴前(捜査)手続⑦ 被疑者側の防御	第25回	確定後救済手続② 非常上告
第10回	公訴提起① 公訴提起の手続	第26回	特別手続③ 略式手続
第11回	公訴提起② 公訴提起の方式	第27回	特別手続④ 即決裁判手続
第12回	公判手続① 公判のための準備活動	第28回	特別手続⑤ 少年事件の特別手続
第13回	公判手続② 公判期日における手続	第29回	特別手続⑥ 付随手続
第14回	公判手続③ 裁判員の参加する公判手続	第30回	全体の総括
第15回	前半の総括	第31回	定期試験

第16回	証拠法① 証拠法とは 伝聞法則(1)		
授業時間外の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に指定されたテキストを一度は必ず一通り読む。それを踏まえ、次回の講義の単元を読んで講義に臨む(1.5時間程度)。</li> <li>・毎回の講義の復習を行うこと(1.5時間程度)。</li> <li>・日頃から、新聞やニュースなどの報道に触れることによって日々の刑事事件等の報道に関心を持ち、社会の出来事に目を向け、耳を傾けること。</li> </ul>		
履修条件 受講のルール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・憲法入門、民法入門、刑法入門、刑法総論・各論を履修済であることが望ましい。</li> <li>・指定テキストを購入すること。</li> <li>・記載の通り、単元ごとにレジュメを配布するが、欠席等で受け取ることができなかった場合は、秋山研究室に自身で受け取りにくること。</li> </ul>		
テキスト	三井誠・酒巻匡『入門刑事手続法〔第7版〕』有斐閣・2017		
参考文献・資料	井上正仁・大澤裕等編『刑事訴訟法判例百選〔第10版〕』有斐閣・2017、酒巻匡『刑事訴訟法』有斐閣・2015、宇藤崇・松田岳士等『刑事訴訟法〔第2版〕』(Legal Quest)有斐閣・2018、その他、講義内で適宜指示・紹介する。		
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験70%、小テスト・レポート20%、授業態度等10%の割合で、厳正に評価する。</li> <li>・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができない。</li> <li>・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とする。</li> <li>・授業中に無許可で退出した場合は欠席とする。</li> <li>・授業の理解、および予習復習が充分であるかを確認するため、授業中に小テストを行うことがある。</li> <li>・レポート課題がある場合には、授業内又は掲示板で指示する。</li> </ul>		
オフィスアワー	原則として、火曜日9:00~10:30、水曜日14:40~16:10、 ※ 事前に連絡をもらえるとありがたい。その他時間が空いていれば適宜対応する。		
成績評価の基準	平成28年度(2016)以降入学した学生 秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) 平成27年度(2015)以前に入学した学生 優(100~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)		
学生へのメッセージ	指定テキスト・最新の六法・ノート・毎回配布するレジュメを必携のこと、また積極的な講義参加を望む。		